



TOHOKU  
UNIVERSITY

## 第8回 東北大学サイエンスカフェ

### 遺伝子医療の最前線

～遺伝子はからだの設計図～

**松原 洋一（東北大学大学院医学系研究科 教授）**

**プロフィール：**「遺伝性の病気の原因となる遺伝子を探すことによって、遺伝子診断法の確立、病態の解明、治療法の開発を研究しています。また臨床遺伝専門医として、東北大学病院で「遺伝カウンセリング」を中心とした遺伝子診療をおこなっています。

私たちのからだの設計図に当たる「遺伝子」の全体像が明らかにされたのは2003年のことです。この遺伝子には個人差があり、その違いが私たちの顔つきや身体つき、体質を決めているのです。また、遺伝子の違いによって、病気のかかりやすさや薬の効き目・副作用の出方が違っているということも次々と明らかにされてきています。

遺伝子を調べることによって、それぞれの人の体質に合った病気の予防や治療をおこなうという「オーダーメイド医療」が提案されています。健康のために遺伝子検査をする時代がすぐそこまで来ているのです。でも、そこにはちょっと困ったことも・・・。

知ってますか？ 遺伝子を調べると、こんなことが判ります：

- お酒が強い？弱い？
- 薬の副作用を予測する
- ヒトは皆、遺伝病をおこす遺伝子の異常を持っている
- お母さんの血液1滴で、おなかの中の赤ちゃんの性別がわかる



**せんだいメディアテーク1F**

**オープンスクエア／カフェ**

**18:00～19:30**

**Tohoku University  
Science  
Café  
in Sendai**

**3 / 17  
Fri**